

環境かわら版



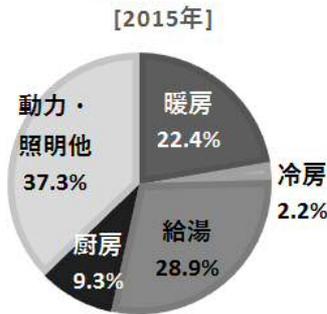
ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中!
1人1日53gのごみ減量を!

No. 80
(2018年1月1日 発行)

冬こそ、省エネライフ

家庭で1年間に消費されるエネルギーは、冬に重宝する給湯機器と暖房機器が半分以上を占めます。これらの機器を上手に利用しつつ、省エネライフを実践してみませんか。

世帯あたりの用途別エネルギー消費割合



◆給湯機器の省エネ◆
・追い炊きを減らす
続けて入浴する、浴槽蓋や保温シートで保温することで追い炊きの使用を減らすことができます。

・給湯器の待機電力を減らす
家庭の消費電力のうち、待機電力の割合は5.1%です。長時間使わない時は電源OFFを心がけましょう。

◆暖房機器の省エネ◆
・使用そのものを減らす
設定温度を1度下げするなど、無理のない範囲で行います。
・ウォームシエア
各部屋で暖房を使用するのではなく、皆で集まって使用するウォームシエアも有効です。

◆ヒートショックに注意◆
急な温度差により血圧が上昇し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こすことをヒートショックといえます。脱衣室を適度に暖め、居間や風呂との

温度差を小さくすることで発症リスクを低減できます。健康に気をつけ、省エネライフを実践しましょう。
(文中の数値は平成28年度エネルギー使用合理化促進基盤整備事業報告書及びエネルギー白書2017より引用。)

「ご寄付いただき
ありがとうございました
(平成29年9月
～平成29年11月)
株式会社ヤマナカ
・イオンリテール株式会社
東海・長野カンパニー
(敬称省略)

<回 覧>

* 裏面もお読みください。

マイバッグについて



一宮市では、2008年10月から「レジ袋有料化及びマイバッグ等の持参促進に関する協定」をスタートしました。改めてマイバッグの効果や、レジ袋販売収益金の活用について説明します。

◆協定参加数は？レジ袋削減率は？

2017年10月末現在では10事業者29店舗が参加しています。一方で、協定に参加せず有料化している店舗など、レジ袋削減の取り組みは様々な形であります。

レジ袋削減率（お断り率）を調査しており、直近（2017年度上半期）の調査では、事業者別では87・1〜93・2%となっており、買い物客の約9割がレジ袋を断っているようです。



◆マイバッグの効果

- ・廃棄物の削減
捨てられるレジ袋の量を減らすことで廃棄物の総量を低減します。
- ・石油資源の節約
レジ袋を生産する際には、石油資源を消費し二酸化炭素を排出します。

しかし、マイバッグを生産するにも資源を消費しています。ひとつのマイバッグを長く使い続けることで環境への負荷を減らすことができます。

◆収益金の活用は？

協力事業者からレジ袋販売収益の寄付をいただいています。市では環境保全基金を設け、この寄付金を環境保全事業に活用しています。主な事業を紹介します。

・子ども環境イベント

エコフェス

子ども達に環境問題について関心を持ってもらうために体験講座や展示を行うイベントです。

・緑のカーテン事業

市立小中学校や市公共施設などに緑のカーテンの資材を提供しています。

・緑のカーテン講座

小学生向けの地球温暖化に関する講座です。

・打ち水大作戦資材

七夕祭りで行う、打ち水のイベントです。

・幼児環境教育

保育園、幼稚園児向けの環境教育を行います。

・環境学習講座

環境に関する各種講座を行っています。



迷惑な野焼き、 していませんか

家庭ごみなどを露地で燃やす、いわゆる「野焼き」について、市民より次のような声が寄せられています。

- ・洗濯物に臭いがつき困る
- ・部屋に煙が入ってくる
- ・臭いで気分が悪くなる

構造基準に適合した焼却炉以外で行う「野焼き」については、一部の例外を除いて原則禁止となっています。

ごみや

草などは可燃ごみとして処分し（1回分に3袋まで）、家庭ごみはきちんと分別し決められた収集日に出すようにしましょう。



問い合わせ：環境部環境保全課